

18才選挙権 選挙に行こうよ

各地で評判の若者向けJCPマガジン取手でも配布

3日、取手駅東口で「共産党にしては斬新だ」と好評のJCP(日本共産党)マガジンを帰宅途中の高校生や青年に配布しました。日本共産党が作成した若者向けパンフで「若者に投資を」「安心して働ける社会に」などの20ページ。志位和夫委員長と上智大教授の中野晃一さんの対談も掲載されています。

ご希望の方は連絡ください。



翁長与党が安定多数維持

全国注目の沖縄県議選。5日投開票され、翁長与党(共産、社民、社大、県民ネットなど)は現有議席を4名上回る27議席を獲得し躍進しました。翁長県政与党の日本共産党は5議席から1名増の6議席へと前進。与党は沖縄県議会の定数48名中、27名となりました。辺野古基地に反対

の翁長県政を支える与党の力は大きく前進することになります。

「オール沖縄」の勢力が結集し県議選で勝利したことは、近づく参院選で、安倍政権の暴走と対決し政治の転換を展望する全国での「市民とオール野党に対する自公とその補完勢力」勝利への強力な力となります。

取手駅東口 バリアフリー化早く

党取手市議団 国土交通省にJR指導を要請

6月6日加増・関戸・小池市議は前鈴木市議と、JR取手駅東口構内のエスカレーター・エレベーター設置に関し国交省に対し「市民の安全・利便性最優先で、早期設置をJRに厳しく指導すること」を要請。紙智子参院議員が同席しました。国交通省は、昨年6月取手市議会での議決により実施した調査設計(委託料1080万円)結果を踏まえ、現在、市が検討中とした、東口構内から千代田線ホームと、同ホ

ーム北側にエスカレーターの設置を検討中と答えました。利用頻度の少ない千代田線にエレベーターを設置するだけでは、利用者の要求に応えたバリアフリーの願いには程遠いものです。日本共産党は、バリアフリー化は、鉄道事業者と所管する国交省の責任であり、安全性・利便性を兼ね備えたバリアフリー化の早期実現に指導官庁としての役割を果たすことを強く求めました。

沖縄県議選 辺野古基地反対

す。地元沖縄タイムスはこの結果を「県議選で与党が過半数を得たことは、参院選に影響を与えることは必至。辺野古の新基地建設に反対をとした『オール沖縄』勢力の勝利は、県民が改めて新基地建設反対の民意を示したこととなる」(6/6付)と報じました。

対案示す日本共産党の躍進で新しい政治を

参院選(6月22日公示、7月10日投票)はもうすぐです。先の沖縄選挙の勝利に続き参院選でも、市民と野党が勝利し、「安倍政治の暴走NO!と退陣を迫る」待ちに待った選挙です。日本共産党は市民のみならずと力を合わせ、戦争法(安保関連法)を強行した自公とその補完勢力を少数に追い込み、「安倍政権退陣」のために全力をつくします。選挙区は1人区(32)での野党統一候補を。そして茨城県など複数区では日本共産党の議席確保に全力を尽くします。また比例区では

「全国は1つ」で850万票以上。9議席の獲得に挑戦します。野党候補と日本共産党の躍進で、国民の声で動く政治へ切り替える選挙としましょう。

※今回の参院選。参院の定数は242で、半数の121議席が3年ごとに入れ替わります。改憲勢力がねらう改憲発議に必要な3分の2議席とするには今回78議席獲得が条件となります。

6・5総がかり大行動

東京では4万人

「明日を決めるのは私たちー政治を変えよう!6・5全国総がかり大行動」が5日、全国各地で取り組まれました。東京では国会周辺3か所で野党の代表や各界・各分野の著名人がスピーチ。参加者は4万人を超え、取手からは農水省前のステージに合流。沖縄代表の声を振り絞っての訴えが共感を呼びました。右翼街宣車が高音響を流して妨害「右翼は帰れ」「集会を妨害するな」とコール、集会を成功させました。

街頭政談演説会

共産、社民、取手生活者ネット
県市民連合共同代表も参加します。

6.18(土)

午後3時~

取手駅東口

みんなのための
政治を、いま。

日本を変えよう。
一緒に変えよう。
VOTE TOGETHER

(民進、生活の党へ呼びかけ中)

共催 戦争させない・9条壊すな!総がかり取手行動実行委員会
戦争法廃止・立憲主義の回復を求める茨城県市民連合

戦後政治史で初、全国で「野党統一」



アベノミクス止め戦争法廃止と立憲主義の回復 塩川鉄也氏、おくだ智子氏、小林きょう子氏訴え

6月4日、市内で行われた日本共産党演説会。初めて参加の人、戦争法廃止で活動する人等200人の参加者で会場は超満員。近づく参院選を前に熱気にあふれるものでした。

塩川てつや衆院議員、おくだ智子参院比例区・小林きょう子選挙区予定候補が参院選政策、野党共闘と日本共産党の役割について訴えました。塩川氏は、「戦争法、アベノミクス、原発

などの安倍政治のゆがみの根本に財界とアメリカ力言いなりの政治がある、これを質す足場を持つ日本共産党の躍進と野党の勝利を」と呼びかけ。おくだ氏は「米軍人の沖縄女性死体遺棄事件は絶対許せない、その解決は米軍基地をなくすこと」と安倍内閣の新基地建設方針に怒りを込めました。定数2の茨城選挙区で必勝を期す小林氏は「野党共闘は、15件の法案共同提出に

消費増税やめ、応能負担の公平な税制を

安倍首相は1日、消費税率10%への引き上げを先送りすると表明しました。消費税増税で、国民生活を破壊してきた自らの失政を「世界経済のリスクが心配」など説明のすり替えに、日本のみならず世界もあきれ顔です。参院選で問われるのは増税先送りの是非ではなく、アベノミクスと消費税増税路線です。

消費税累計 282兆円

ところで今「消費税率10%への引き上げを先送りしたことで社会保障の充実財源が不足する」という議論がマスコミ等で盛んにおこなわれています。安倍首相自身も「社会保障への影響はありうる」などど「しゃあしゃあ」と答えています。

消費税は大企業減税などの穴埋めに



法人税の減収累計 255兆円

これまで、政府は消費税増税の度に「社会保障の充実のため」と言ってきました。事実はどうでしょうか。福祉の充実どころか、医療や、年金、生活保護などの社会保障の改悪が進められ、その一方で、大企業・富裕層への減税や軍事費（今年度は5兆円を突破）の増大です。

日本共産党は「消費税増税延期ではなく増税はきっぱりと断念し、税金は大企業や富裕層から負担能力に応じた税負担を」と求めてきました。「アベノミクス」と増税路線への審判は、参院選挙の大争点です。

市民と議員・予定候補者が懇談

塩川衆議院、おくだ・小林両予定候補を囲み、総がかり取手行動、安保法制撤廃を求める取手文化の会、などの市民の方々の懇談会で話がはずみました。「増税先送り、年金・社会保障の財源は？」、「将来年金をもらえるとは思っていない」、「放射能は安全」という文科省の小学生向け副読本は「問題だ」と思っている。「小林節さんの今

も広がった」「TPP批准は許さない」と訴え。来賓あいさつに立った総がかり取手行動実行委員会代表の遠藤俊夫さんからは、安保法制の

廃止へ野党の勝利と日本共産党への期待が述べられました。

取手市議会 6月9日～23日 日本共産党一般質問



遠山ちえ子



関戸 勇



小池えつ子



加増みつ子

6月9日

- ◇待機児童解消は正規保育士の増員・待遇改善。
- ◇農業政策拡充、生活道路整備、他。

6月14日

- ◇吉田・舟山保育所・公民館等施設統合やめよ、使用料・手数料値上やめ福祉向上。
- ◇桑原土地開発は住民本位に。取手駅東口構内バリアフリー化促進。
- ◇地域包括ケアに行政の役割をはたすこと。
- ◇国保税引き下げ、子供の医療費窓口負担ゼロに。
- ◇防災計画拡充、東海第2原発の廃炉求めよ。
- ◇無駄な水源開発霞ヶ浦導水事業から撤退せよ。

熊本地震救援募金

義援金・第1次と合わせ1億2,840万円 被災地へ

日本共産党は志位和夫委員長、小池晃書記局長らが現地を訪れて被害の大きい自治体と観光・農業団体などから要望をお聞きするとともに、党に寄せられた救援募金を第1次の義援金として7600万円を届けました。その後も多くの方から次々と救援募金が寄せられ、今回第2次として5240万円届けました。これまでと合わせ義援金総額は1億2840万円となります。

日本共産党に寄せられた救援募金は6月4日現在で1億4321万7223円です。(内、取手は、42万5581円です)